

事業提案書

団 体 名	ゆざわジオパークガイドの会				事業区分	ソフト
事 業 名	認定ガイドによるゆざわジオパーク盛り上げ事業				継続事業	2 年目
実 施 期 間	7 年 7 月 1 日から 8 年 3 月 31 日まで					
補 助 対 象 経 費	500,000 円		補 助 金 申 請 額		450,000 円	
事業目的	課 題	(事業を計画するに至った課題とその原因はなにか) ゆざわジオパークが日本ジオパークに認定されて10年以上が経過し、現在に至るまで推進協議会を中心に様々な活動が行われてきたが、湯沢市民のジオパークに対する理解や興味関心の醸成は道半ばである。				
	目 的	(課題の原因を解決する目的はなにか) ジオパーク活動の民間レベルでの盛り上げと地域住民への周知を図る。 特に、子どもや現役世代を含む幅広い年代へアプローチする。				
事業内容	対 象	(事業の対象となるのは誰か) 地域住民				
	内 容 (流れ)	(いつ、どこで、どの様な内容の事業を、どの様な方法で行うのか) ・秋季 ゆざわジオパークガイドの会主催のジオツアーを実施 3種類の「ジオガイド自らが紹介したい・伝えたいコース」のツアーを実施することで、参加者にジオパークの魅力や醍醐味とともに、ガイド自身のジオパークに対する想いを知ってもらう。 ・冬季 ジオパーク体験イベントの実施 講演会といった“お堅い”内容ではなく、子どもたちや、その保護者といった層が楽しめることを念頭に置いたイベントを行う。 「おいしい火山学」で著名な秋田大学名誉教授の林信太郎氏と信頼関係を構築できており、イベント内容の構築等は氏と協力して行うことを想定している。				
	目標と計画	1 年目	目標	ジオパークへの興味関心の醸成	目標の根拠	地域住民のジオパーク活動への参加を促すため
		2 年目	目標	ジオパークへの興味関心の醸成	目標の根拠	地域住民のジオパーク活動への参加を促すため
			計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) ・引き続きジオツアーを実施 ゆざわジオパークの多面性を知ってもらうため、1年目とは異なるコースを設定する ・幅広い年齢層に向けたイベントを実施		
		3 年目	目標	ジオガイドの存在や活動をPR	目標の根拠	語り部であるジオガイドの重要性
			計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか) ・引き続きジオツアーを実施 ・ツアーやPR等を通じて、ジオガイドの活動の発信に注力		
～5 年目	目標		目標の根拠			
	計画	(どう発展して継続していくか、資金調達をどう行っていくか)				
規 制	(事業を行う上での規制はあるか、どのように対処していくのか) 旅行業法に違反しないよう、ツアーの参加費は無料とする。					

(裏面)

事業スケジュール	期 間	内 容	担当者
	7 月 上旬 ～ 10 月 中旬	ジオツアーの計画・準備	会員
	10 月 下旬 ～ 10 月 下旬	ジオツアーの実施（秋のハイシーズンを想定）	会員
	8 月 上旬 ～ 冬季	ジオパークイベントの計画・準備	会員
	冬季	ジオパークイベントの実施	会員
	随時	市広報等を用いた事業の告知と発信	会員
	月 上旬 ～ 月 下旬		
	月 上旬 ～ 月 下旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
	月 旬 ～ 月 旬		
住 民 参 加		（事業に対し、どのように住民が参加できるか） ・ジオツアーに参加し、現地見学とガイドの説明を通じて自分たちの地元の奥深さに触れる ・イベントでは子どもたちを通じて、その親世代や現役世代など、普段ジオパークとあまり接点のない人の参加を促す。	
事業のアピール点		（地域の特性を活かした事業か、アイデアや着眼点のどこが優れているか） ・ジオパーク活動は自分たちが暮らす地域を「大地とのかかわり」という視点から捉え直すことに繋がる。地熱資源をはじめ、「湯沢ならではの要素」について理解することは、より深い郷土愛を生み出す。これらはいわゆる町おこし活動全般の根幹に位置するものであり、他の様々な活動への波及効果も大きい。 ・「お勉強」ではなく「楽しい」イベントを通じて、参加者にジオパークや推進活動が自分にとって身近なものであるとの意識を育む。	

※記載欄の過不足は適宜調整してください。